

研究分野		授業科目名				科目責任者	
組織培養・免疫系分野		耳鼻咽喉・頭頸部・免疫形態学特論Ⅱ				原 浩貴	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
聴覚・平衡学を司る内耳の構造および機能を知る。							
授業到達目標							
(1) 正常内耳の構造が理解できる。 (2) 内耳組織標本の作製ができる。 (3) 内耳組織標本の所見を書くことができる。 (4) 内耳組織の免疫染色および遺伝学的検索を行うことができる。 (5) 異常状態における ABR の測定とその解析をすることができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	水	18:00-19:30	秋定 健	講義	[抄読会]	内耳の機能・構造に関する講義および討論・文献の紹介 [場所:総合医療センター 教室]
評価方法							
(1) 1年間※で、講義は 30 時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を 2 回行い、その要約 2 編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文（症例）であること。 ※ 2 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33 頁：単位履修方法参照。							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
紹介論文の要約について、添削して返却する。							
教科書							
特になし							
参考書							
ISBN-9784260002864, 中耳・側頭骨解剖アトラス, 須納 瀬弘・小林 俊光, 医学書院, 2006							
準備学習（予習・復習等）							
講義ごとに紹介する文献・論文を次回講義までに読んでおくこと。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。 内耳の構造が正確に図示でき、機能との関連が説明できるように学修すること。							